

1 主 題 C-(14)家族愛，家庭生活の充実

2 教材名 「背筋をのばして」(出典：東京書籍「新しい道徳3年」)

3 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値について

中学校の内容項目 C-(14)では、「父母，祖父母を敬愛し，家族の一員としての自覚をもって充実した家庭生活を築くこと」をねらいとしている。中学生という時期は，多感になり，親の言動を素直に受け入れられないときがある。一方で，中学3年生になり，家族からの愛情を感じられる場面が少しずつ増えてもいる。さらに，自我意識が強くなり，自分の判断や意思のみを貫いて生きていこうとする自立への意欲が高まってくる時期でもある。そうした状況の中，多くの生徒がその保護者や家族と協力して進路に向き合う大切な時期にきている。本時では，家族との関わりや家庭における自分自身の在り方について見つめ直す機会としたい。自分自身と誠実に向き合い，家族への感謝と家庭における自分自身の役割について，深く考えられる機会となるようこの本主題を設定した。

(2) 生徒の実態と目ざす姿

本学級の生徒たちは，学級では学校生活や行事において，人の気持ちを考えて誰に対しても思いやりの心を持ち，クラス一丸となって取り組んできた。一方で，家庭では自分自身の大事な進路の話を家族の人と十分にできていない生徒も見受けられる。以前の道徳の授業「避難所での出来事」では，振り返りに「自分の命も大切だけど，家族などの自分を大切にしてくれる人の命も大事にしたい」と記述し，自分と同じくらい家族を大事にしようとする生徒も多く見られた。本授業では，家族の在り方を考えていく中で，家族という存在は互いに尊敬し合い，自分自身にとってはなくてはならない存在であることを改めて自覚できるようにしたい。そして，家族の存在はあたりまえに考えがちだが，家族から大事にされ，あらゆる面で支えられていることに気づき，よりよい家庭生活を築く意欲を高めていきたい。

(3) 教材について

本教材では，進路においてデザイナーへの道を歩みたい千里と，クリーニング屋になると思っている父親の思いが衝突する姿が描かれている。その後，和解を経験することで，改めて自分を家族が支えてくれていることに気づき，家族に感謝の気持ちをもって人生の新たな一步を踏み出す物語である。本時では，千里がデザイナーを選ぶべきか，クリーニング屋を選ぶべきか考えることによって，家庭における自分自身の在り方を考え直せるようにしたい。家族に対する感謝や家庭における自分の役割の重要性に気づき，よりよい家庭生活を築いていこうとする意欲を高めていくためにふさわしい教材だと考える。

4 本時の授業

(1) 本時のねらい

敬愛する両親の思いを受け止めつつも自分の将来について悩む主人公の姿を通して、家族を敬愛し、家族の一員としての自覚をもち、よりよい家庭生活を築こうとする心情を育てる。

(2) 展 開

分	学 習 の 流 れ	※教師の支援 ★評価
---	-----------	------------

	素敵な家族とはどんな家族かな			
	お互いに愛し合っている家族	安心してなんでも相談できる家族	毎日笑顔が絶えない家族	コミュニケーションが取れる家族

8	進路希望調査を見た父親は、どのような気持ちだっただろう			
	クリーニング屋を継ぐと思っていたから残念	急に言われたから受け止められない	ずっとクリーニング屋を継ぐと信じていたのに。複雑な気持ち	

12	千里さんはデザイナーとクリーニング屋のどちらを選ぶべきかな			
----	-------------------------------	--	--	--

【デザイナー】	【クリーニング屋】
自分の意思が大事なので父がなんて言おうとデザイナーを旨ざす	せっかく父がクリーニング屋の仕事を教えてくれて、少しずつできるようになってきたから、父の願いを受け入れ、クリーニング屋で働くと思う
自分で覚悟を決めて進んだ道なのできっと両親は応援してくれると思う。だからデザイナーを選ぶと思う	今まで育ててくれた両親のためにクリーニング屋を継いで恩返しをしたい
もし私が千里さんだったら両親のクリーニング屋を継いでほしいという気持ちはわかるけど、自分のやりたい仕事を諦めることはしたくない	私はデザイナーになりたいけど、親の言うことには逆らえないからクリーニング屋になる

※自分自身に向けられる家族の思いに気づけるよう、板書は自分の思いと家族の思いを分類して板書する。

45	素敵な家族になるために、自分には何ができるかな（振り返り）
----	-------------------------------

どこにいてもお互いのことを思い合う家族。一生懸命働いてくれたり、家のことをやってくれたりする親に恩返しをしたい	お互いに愛情をもち、変化があったとしても応援できる家族。家族はなくてはならないものだから大事にしたいと改めて思った
---	---

★主人公の姿を通して、家族という存在の大事さに気づき、よりよい家庭生活を築こうとする思いを表現することができたか。（ワークシート）

※自分の意見を記述することができない生徒には、素敵な家族はどんな家族か考えられるよう、友達の意見を参考に記述するように促す。